

個別事業シート

基本目標3

年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちを
竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する
地域力の強化 ①健康なまちづくりの推進

施策の方向性

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元氣プロジェクト		国	県	その他	一財		
介護予防支援事業	R2	高齢者の社会参加への意欲を具体的な活動に結びつけるうえできかけづくりのため、高齢者による介護予防・健康増進に資する活動の実績に基づく支援を行い、高齢者の生きがいづくりを推進する。 ○はつらつ手帳(介護予防手帳)の出席スタンプが基準へ達した人への記念品贈呈等	はつらつ手帳(介護予防手帳:介護予防の自主グループ活動に参加している高齢者に交付している)の出席スタンプが120回となった高齢者に対して(週1回の体操参加を続けて約3年)、自主グループ参加者記念品としてかぐや姫商品券500円分を延べ57人に贈呈した。	【目標】 介護予防に取り組む高齢者を増やし、高齢者の社会参加を促進するとともに高齢者の介護予防及び生きがいづくりを推進する。 【目標数値】 高齢者人口に占める自主グループへの参加者の割合(第7期介護保険事業計画) R2 7% R5 9% R7 10%	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつらつと活躍している	—	285,000	92,053	36,615	91,031	65,301	B	【担当課意見】 R2年度は新型コロナウイルス感染症による自粛等の影響があり事業推進は難しかったが、感染対策を取りながらの活動継続について進めていった。 【今後の見通し】 引き続き高齢者の社会参加及び介護予防について推進していく。
がん検診事業	R2	健康増進法に基づく健康診査事業(主にがん検診)を疾病の早期発見・治療の結びつけ、市民の健康増進を図るため実施する。 ○対象者:40歳以上(ただし、子宮頸がん検診については、20歳以上偶数年齢。乳がん検診は40歳以上偶数年齢) ○内容:胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん検診 ○検診の種類:集団検診は特定健診同時実施。医療機関検診は子宮頸がん検診・乳がん検診・大腸がん検診・胃内視鏡検診(R3から開始)を実施。	集団検診は11日間(土曜日含む)実施。医療機関検診は9ヶ月間実施。広報、個別受診勧奨・再勧奨、普及啓発を行った。要精密検査の受診勧奨を重点的に実施した。 受診率H30実績→R1実績(差) 胃がん検診 5.2%→5.1%(-0.1%) 肺がん検診 6.8%→6.6%(-0.2%) 大腸がん検診 9.1%→7.4%(-1.7%) 子宮頸がん検診 20.6%→20.3%(-0.3%) 乳がん検診 21.0%→21.0%(0%)	【目標】 疾病の早期発見・早期治療に結びつけ、市民の健康増進を図る。 【目標数値】 胃がん健診 10.0% 肺がん健診 10.0% 大腸がん健診 10.0% 子宮頸がん健診 20.0% 乳がん健診 22.0%	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつらつと活躍している	—	22,311,264	311,000		2,278,600	19,721,664	B	【担当課意見】 R2年度は、胃内視鏡検診の準備を行ったり、検診案内に受診可能な検診に○を付けた申込書を添付し、受診勧奨を行うなどした。 【今後の見通し】 胃がん検診については、胃内視鏡検診の開始により、受診率が上がる見込みである。また、引き続き受診勧奨等に取組む。
健康対策普及事業	R2	国民健康保険被保険者について、特定健康診査、がん検診等を受診することで早期発見・治療に結びつけ、被保険者の健康増進を図るとともに、適正受診を啓発し医療費の適正化を推進する。	特定健康診査 がん検診等費用助成 特定健康診査に加えて、がん検診等の内容を実施 訪問による指導 後発医薬品差額通知 医療費通知 など	【目標】 医療費の適正化 【目標数値】 なし	市民課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつらつと活躍している	—	38,460,415		38,460,415			—	【担当課意見】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けたが、事業を実施できた。 【今後の見通し】 今後も取組を継続・実施する。
生活習慣病重症化予防事業	R2	国民健康保険被保険者の糖尿病罹患者のうち、治療内容から対象者を抽出し、6か月間の指導を行うなど、糖尿病性腎症の重症化を予防するための取組を行う。また、糖尿病の治療中断者などへ医療機関の受診勧奨を行う。	糖尿病性腎症重症化予防 新規指導 前年度終了者支援 治療中断者	【目標】 糖尿病による新規導入の人工透析患者の減少 【目標数値】 なし	市民課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつらつと活躍している	—	4,187,700		4,187,000			A	【担当課意見】 H26年度の事業開始からのR1年度までの指導修了者41人中の透析移行者は1人であり、事業の効果が出ている。 【今後の見通し】 今後も取組を継続・実施する。
				【目標】 【目標数値】										【担当課意見】 【今後の見通し】

個別事業シート

基本目標3

年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちを
竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する
地域力の強化 ②多様な人材の活躍促進

施策の方向性

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財			
障害者計画等策定事業	R2	障害者施策全般に係る理念や基本的な方針、目標を定めるための「竹原市障害者計画」、並びに障害福祉サービスの必要量確保のための方策等を定める「第6期障害福祉計画」及び「第2期障害児福祉計画」を策定する。	障害者手帳所持者や市民へのアンケートやサービス提供事業者や団体などに調査を実施した。障害者施策や成果目標、障害福祉サービスの必要量などについて、計画策定委員会及び障害者自立支援協議会等で協議を行った。	【目的】 障害の有無にかかわらず、地域の中で認め 支えあい、安心して暮らすことのできる『共生 社会』の実現を目指し、計画を推進するため 【目標数値】 なし	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く 活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつら つと活躍している	—	5,263,059					5,263,059	A	【担当課意見】 アンケートの実施や各団体への調 査・協議を行い、令和2年度に「第6 期障害福祉計画」及び「第2期障害 児福祉計画」を策定した。 【今後の見通し】 令和3年度から、計画に基づき施策 を推進する。
地域生活支援体制整備事業	R2	障害者が住み慣れた地域で安心して暮らして いけるよう、相談、体験の機械、緊急時の対応 など、地域の事業者が機能を分担して面的 な支援を行う体制の構築を図る。	5法人18事業所と緊急時の受入れ等 対応に関する委託契約を締結した。 2名の登録者、1件の受入実績があつ た。 障害者自立支援協議会のワーキング グループで情報共有を行い、来年度以 降の取組について協議した。	【目標】 障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据 え、居住支援のための機能を整備し、障害者 の生活を地域全体で支えるため 【目標数値】 なし	健康福祉課	将来像3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く 活力と優しさがあふれるまち 目標像5 誰もがお互いに尊重し、いつまでもはつら つと活躍している	—	17,130	6,149	3,074			7,907	A	【担当課意見】 令和2年度には、市内事業所の緊急 受入れ体制の整備を進めることが出 来た。 【今後の見通し】 引き続き、緊急時の受入れが必要な 障害者の登録を進めるとともに、体験 の機会などの取り組みを進める。
				【目標】 【目標数値】											【担当課意見】 【今後の見通し】
				【目標】 【目標数値】											【担当課意見】 【今後の見通し】
				【目標】 【目標数値】											【担当課意見】 【今後の見通し】

個別事業シート

基本目標3

年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちを
竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する
地域力の強化 ③地域を支え活躍する人材の育成・環境づくり

施策の方向性

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
未来の人材育成促進事業(義務教育グローバル化促進分)	R2	竹原市の次代を担う青少年が、外国語によるコミュニケーション能力を高めたり、異文化・自文化理解を深めたりすることで、世界とつながり、ふるさと「たけはら」を広く発信できる人材を育成する。	事業の柱となる「海外派遣研修」の実現に向け、募集を募り、決定者8名に対して事前研修会等を実施した。また、市教委主催の「1DAY国内留学」を実施することで、英語によるコミュニケーションの楽しさを味わわせ、今後の学習への意欲を高めることができた。	【目的】 市内の生徒が、外国語によるコミュニケーション能力を高めたり、異文化・自文化理解を深めたりすることで、世界とつながり、ふるさと「たけはら」を広く発信できる人材を育成する。 【目標数値】 なし	総務学事課	将来像2 “文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる”ちから”づくりの推進	1,432,188			716,094	716,094	—	【担当課意見】 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、予定していた取組ができない状況もあったが、やり方や時期を工夫することで実施することができた。 【今後の見通し】 昨年度の参加者の振り返り等を生かし、よりよい内容になるよう工夫改善を行う。また、オンライン交流の推進を充実させ、コロナ禍においても目的が達成できるようにする。
コミュニティ・スクール導入事業【再掲】	H31～R2	市内のすべての小中義務教育学校において、地域とともにある学校「コミュニティ・スクール」を実現するため、校内研修や準備委員会に係る指導助言などを実施する。令和2年度は、コミュニティ・スクール実施校4校、設置準備校8校を予定。	令和3年度の市内全校におけるコミュニティ・スクールのスタートに向け、学校運営協議会未設置校に準備委員会を立ち上げ、コミュニティ・スクールについての事前協議等を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、準備委員や保護者を対象とした、市主催研修の実施が困難な中で、市教育委員会の担当者が講師となり、管理職研修会等で指導講話を行った。	【目標】 令和3年度、全ての竹原市立学校に学校運営協議会を設置する。 【目標数値】 なし	総務学事課	将来像2 “文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像2 子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	育てる”ちから”づくりの推進	281,480				281,480	A	【担当課意見】 令和2年度には、コロナ禍の状況で、コミュニティ・スクール導入に向けての会議や研修等の実施に制限があったものの、各学校において学校運営協議会の設置に向けた動きを進めることができた。 【今後の見通し】 令和3年度は、各学校運営協議会へ市教育委員会担当者が出席し、コミュニティ・スクールの円滑な推進に向けた支援を行っていくとともに、研修会等の実施を計画する。
地域交流センター事業	R2	市内13地域交流センターにおいて、各種教室・講座等の開催を通じ、地域住民に対し「集い、学び、つながる」場を提供し、生涯学習の推進を図る。	市内13地域交流センターにおいて、各種教室・講座等を開催し、地域住民に対し「集い、学び、つながる」場を提供し、生涯学習の推進を図った。	【目標】 各種教室・講座等開催 【目標数値】 市内13地域交流センター	地域づくり課	将来像2 “文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち 目標像3 市民一人一人が自ら学び、様々な場面で協力しながら活躍している	育てる”ちから”づくりの推進	66,034,386				66,034,386	A	【担当課意見】 各地域交流センターにおいて、各種教室・講座等を開催し、地域住民に対し「集い、学び、つながる」場を提供し、生涯学習の推進を図ることが出来た。 【今後の見通し】 施設、設備の更新を図り、継続的な生涯学習の場の提供を行うため、計画を検討する。
				【目標】 【目標数値】										【担当課意見】 【今後の見通し】
				【目標】 【目標数値】										【担当課意見】 【今後の見通し】

個別事業シート

基本目標3

年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちを
竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する
地域力の強化 ④企業等の連携強化

施策の方向性

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財			
広島広域都市圏連携事業	R2	広島広域都市圏の自治体間で、圏域全体の発展に寄与することを目的に、様々な交流と連携を推進する。	職員交流・研修、地域間交流事業、観光PR事業などの事業を実施した。 ・職員交流・研修(R2年4月～) ・観光物産展(R2年9月26日) ・イベント情報誌「リ～ぶら」発行(春号、夏号、秋号、冬号)	【目的】 地域資源を積極的に活用し、行政区域を越えた連携の下に、まちの活性化と産業・経済の活力増進、雇用の拡大を図る。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	32,714					32,714	B	【担当課意見】 令和2年度には、職員交流・研修、地域間交流事業観光PR事業などの事業を実施した。 【今後の見通し】 令和3年度においても、引き続き各種事業体との連携を積極的に進める。
広島中央地域連携中核都市圏連携事業	R2	広島中央地域連携中核都市圏(呉市、竹原市、東広島市、江田島市、海田町、坂町、熊野町、大崎上島町)全体の一体感の醸成や圏域内住民の交流及び情報発信を行う。	広島中央地域連携中核都市圏の情報誌を「海陽彩都」発行した。(令和3年4月発行、令和3年10月発行)	【目標】 圏域内の交流人口の増加を図る。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	165,000					165,000	B	【担当課意見】 令和2年度は、圏域内の情報誌「海陽彩都」を発行した。 【今後の見通し】 令和3年度においても、引き続き、情報発信を行う。
広島臨空広域都市圏振興協議会連携事業	R2	広島空港をとりまく4市2町が相互に密接に連携し、空港から臨空都市圏への誘客を図るため、各種観光メニューの作成や、PR活動を実施する。	観光バスツアー、観光メニューの作成、空港アクセスの向上のための調査研究事業などを実施した。 ・観光バスツアー(R3年3月20日) ・アクセス向上に向けた調査研究(R2年～R3年)	【目標】 圏域内の4市2町が連携して事業を行うことにより、圏域全体の振興発展を図る。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	328,000					328,000	B	【担当課意見】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、秋まつりが中止となった。観光バスツアー、観光メニューの作成については、事業を実施した。 【今後の見通し】 令和3年度においても、引き続き、圏域全体の振興発展を図るための事業を実施する。
広島ドラゴンフライズ・生協広島等包括連携事業	R2	竹原市と広島ドラゴンフライズは、双方の発展につなげることを目的に連携協定を締結し、竹原市のPRを行うとともに、広島ドラゴンフライズのファン拡大を図る。	広島ドラゴンフライズによるSNS研修会、竹原市の応援デー、広島ドラゴンフライズによる学校訪問などを実施した。 ・SNS研修会(R2年9月11日) ・学校訪問(令和2年8月24日中通小学校、栗野小学校) ・広島ドラゴンフライズ応援デー(R3年2月28日)	【目標】 竹原市、広島ドラゴンフライズが有する資源を活用し、地域活性化を図り、双方の発展につなげる。 【目標数値】 なし	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	55,540					55,540	B	【担当課意見】 令和2年度は、広島ドラゴンフライズによるSNS研修会、竹原市の応援デー、広島ドラゴンフライズによる学校訪問などを実施した。 【今後の見通し】 令和3年度は、応援デーの実施、広島ドラゴンフライズの選手による、竹原市のPR事業を実施する。
				【目標】 【目標数値】											【担当課意見】 【今後の見通し】

個別事業シート

基本目標3

年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちを
竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する
地域力の強化 ⑤関係人口の創出・拡大

施策の方向性

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財			
シティプロモーション事業【再掲】	R2	市民のまちへの誇りと愛着を高めるとともに、市内外の人々から“選ばれるまち”となり、本市に「訪れたい」「関わりたい」「住みたい」人を増やすため、各種シティプロモーション事業を実施する。	「たけはらファンクラブ」の創設・運営、広島ドラゴンフライズとの連携、わがまち魅力発信隊による本市のPR実施を実施した。	【目的】 市民のまちへの誇りと愛着を高めるとともに、市内外の人々から「選ばれるまち」となり、本市に「訪れたい」「関わりたい」「住みたい」人を増やす。 【目標数値】 たけはらファンクラブ加入者数 R3.3(現在値)=864、R6=200 転出超過数 H30=320人、R6=144人	企画政策課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む“ちから”づくりの推進	454,372					454,372	B	【担当課意見】 令和2年8月に、本市を応援していた多くの人達で組織する「たけはらファンクラブ」を創設した。 【今後の見通し】 「たけはらファンクラブ」については、情報発信のみでなく、本市との関係性が深まる取組を進めていく。また、広島ドラゴンフライズとの連携事業やわがまち魅力発信隊による本市のPR事業に関しては引き続き継続して行う。
ふるさと納税推進事業	-	ふるさと納税に係る他自治体との競争環境激化や寄附者の利便性向上が求められている中で、新規ふるさと納税プラットフォームの追加及び返礼品の拡充等を行うことにより、歳入増加と市のPRを図る。	新規プラットフォームの追加に伴う間口拡大による新規寄附者の獲得と約30品の返礼品の追加、紙媒体やサイト内での広告を行い寄附金額の増加及び市のPRを図ることができた。	【目的】 寄附金額の増加及び竹原市のPRを図る。 【目標数値】 70,000,000円	総務課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	-	63,476,805					63,476,805	A	【担当課意見】 R2年度に新規プラットフォーム等の追加や広告を行うことにより寄附額の増加やPRにつなぐことができた。 【今後の見通し】 さらなるプラットフォームや返礼品の追加を行いながら、メールマガジン等の情報発信を行い寄附金額及び関係人口の増加を行う。
				【目標】 【目標数値】											【担当課意見】 【今後の見通し】
				【目標】 【目標数値】											【担当課意見】 【今後の見通し】
				【目標】 【目標数値】											【担当課意見】 【今後の見通し】

個別事業シート

基本目標3

年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちを
竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する
まちの魅力向上 ①歴史・文化を活かしたまちづくりの推進

施策の方向性

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)	
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財			
文化財管理事業	R2	・文化財の維持管理及び文化4施設(旧森川家住宅、旧松阪家住宅、旧光本家住宅、歴史民俗資料館)の管理する。 ・旧吉井家住宅管理及びその他文化財を管理する。	・指定文化財管理及び整備委託 ・文化4施設の直営化 ・全国重伝建地区パネル展の実施 ・竹原市重要文化財「篤箱」弾薬輸送庫展示の実施	【目的】 文化財及び文化施設の適切な管理を行う。 【目標数値】 文化4施設の入館者数64,000人以上	文化生涯学習課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	18,599,219					18,599,219	C	【担当課意見】 R2年度には、文化4施設を直営化を実施し、来訪者へのアンケート調査により施設利用者の傾向分析等を行った。また、各施設における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施した。 【今後の見通し】 引き続き文化財及び文化施設の整備・活用に取り組みとともに、文化施設に於けるキャッシュレス決済の導入による接触機会の減少等、感染拡大防止対策を行う。
日本遺産(北前船寄港地)活用事業	R2	・日本遺産「北前船」に関連する事業の実施。	・日本遺産「北前船」パンフレットの発行 ・北前船日本遺産推進協議会への参加	【目的】 日本遺産「北前船」の普及啓発を行う。 【目標数値】 なし	文化生涯学習課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	1,094,000					1,094,000	—	【担当課意見】 令和元年度に日本遺産「北前船」の認定を受け、令和2年度は「北前船」の概要を含むパンフレットを作成した。 【今後の見通し】 引き続き、日本遺産「北前船」の普及啓発を行うため、北前船日本遺産推進協議会と連携しながら、展示等の事業を実施する。
景観計画策定事業	R1～R3	本市の優れた自然景観や歴史・文化景観等の保全・育成と次世代への継承のため景観計画を策定し、市民の景観に対する意識高揚を図り、主体的な景観まちづくりにつなげる。 ・竹原市景観計画の策定 ・景観条例等の策定 など	住民投票や景観計画策定委員会による竹原市景観17選の選定 景観勉強会や景観計画策定委員会等による竹原市景観計画の検討	【目標】 令和3年度竹原市景観計画の策定・公表及び景観条例の制定 【目標数値】 景観づくり団体数 2団体	都市整備課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	116,080					116,080	A	【担当課意見】 R2年度は住民との景観づくり勉強会での景観づくりの意識醸成や景観計画策定委員会での計画に対する審議が進められた。 【今後の見通し】 景観計画に関する住民との合意形成を進め、竹原市景観計画策定委員会や竹原市都市計画審議会にて審議を経て、計画策定を行う。
				【目標】 【目標数値】											【担当課意見】 【今後の見通し】
				【目標】 【目標数値】											【担当課意見】 【今後の見通し】

個別事業シート

基本目標3

年齢や性別に関わらず多様な人々が元気なまちを
竹原の魅力、個性を活かして交流を拡大する
まちの魅力向上 ②地域資源を活かした観光・交流の更なる推進

施策の方向性

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当す将来像・目標像	元気プロジェクト		国	県	その他	一財		
観光プロモーション事業	R2	首都圏からの観光客及び訪日外国人をターゲットに観光プロモーションを行い、新たな観光客の誘致及び観光消費額の増加の繋げる。	①旅行商品の造成・販売 ②広告媒体を活用した情報発信(国内向け) ③謎解きイベントの実施 ④広告媒体を活用した情報発信(国外向け)	【目的】 観光客数及び観光消費額の増加 【目標数値】 ①観光消費額500万円以上 ②広告換算額500万円以上 ③観光消費額500万円以上 ④広告換算額500万円以上	産業振興課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	呼び込む"ちから"づくりの推進	9,797,612	4,898,806			5,000,000	B	【担当課意見】 新型コロナウイルス感染症の影響で事業内容の変更が生じたが、社会情勢に適応した効果的なプロモーションを実施できた。 【今後の見通し】 国内及び国外からの観光客の誘客も目的に、市場調査を実施するなど、一体的な観光プロモーションを行う。
公共無料Wi-Fi事業	R2～R3	広島県観光連盟のデジタル技術等を活用した観光地スマート化推進事業補助金を活用して忠海地区のWi-Fi整備を行い、観光客の受入環境整備を行った。	現在4か所に設置しているHiroshima Free Wi-Fiのうち、忠海駅と忠海港のLTE回線をタネネット回線に切り替え、大久野島にAPを新設した。	【目的】 国内外からの観光客の受入環境整備として、既存のHiroshimaフリーWi-Fiの通信の安定化を図り、同時多数接続にも対応する。また、大久野島にAPを新規で設置する。 【目標数値】 なし	産業振興課	将来像1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち 目標像1 竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれる	—	1,857,900	371,900	1,486,000			A	【担当課意見】 忠海駅と忠海港を光回線に切り替えることで通信が安定した。また、大久野島第2桟橋に新たにHiroshimaフリーWi-Fiのアクセスポイントを設置したことで観光客が気軽にインターネットを利用できる環境が整った。 【今後の見通し】 Wi-Fiのログデータから得られる情報をマーケティングに活用する。また、Wi-Fiを利用してキャッシュレス対応等の取組みを推進する。
				【目標】 【目標数値】										【担当課意見】 【今後の見通し】
				【目標】 【目標数値】										【担当課意見】 【今後の見通し】
				【目標】 【目標数値】										【担当課意見】 【今後の見通し】